

森林水文学観測の組織化 Organization of monitoring on forest hydrology

谷 誠^{1*}
Makoto Tani^{1*}

¹ 京都大学農学研究科
¹Graduate School of Agriculture, Kyoto University

森林水文学では数十年の観測が続けられてきた。フラックス観測はようやく10年を経過した。ICSUのFuture earthにおいては、長期環境変動に対する生態系応答のレジリエンス・スレシールドが中心課題となっているが、わが国では観測が維持される展望は乏しい。数十年を考えたとき、研究プロジェクトでの運転を越えた組織的観測体制の構築が議論されるべきである。高度な技術が必要な観測およびデータ構築を博士のキャリアパスとしても展望する方向を考えたい。

キーワード: 森林水文学, 試験地観測, 組織化
Keywords: forest hydrology, site monitoring, organization